

名糖運輸とヒューテックノオリンとの 経営統合に関する合同説明会

2015年2月10日



名糖運輸株式会社



株式会社ヒューテックノオリン

共同持株会社の社名

会社名

▶ 共同持株会社社名

株式会社C & Fロジホールディングス

▶ 英文

Chilled & Frozen Logistics Holdings Co., Ltd.

目次

1	統合の趣旨と概要		5
2	統合スキーム等		15
3	両社の概要		20

統合の趣旨と概要

経営統合の背景: 外部環境

食品物流は、加温帯の拡大も含め堅調な成長が見込まれるも
さらなる大規模化・広域化・高速化への対応が求められている

業界再編による大規模化・寡占化

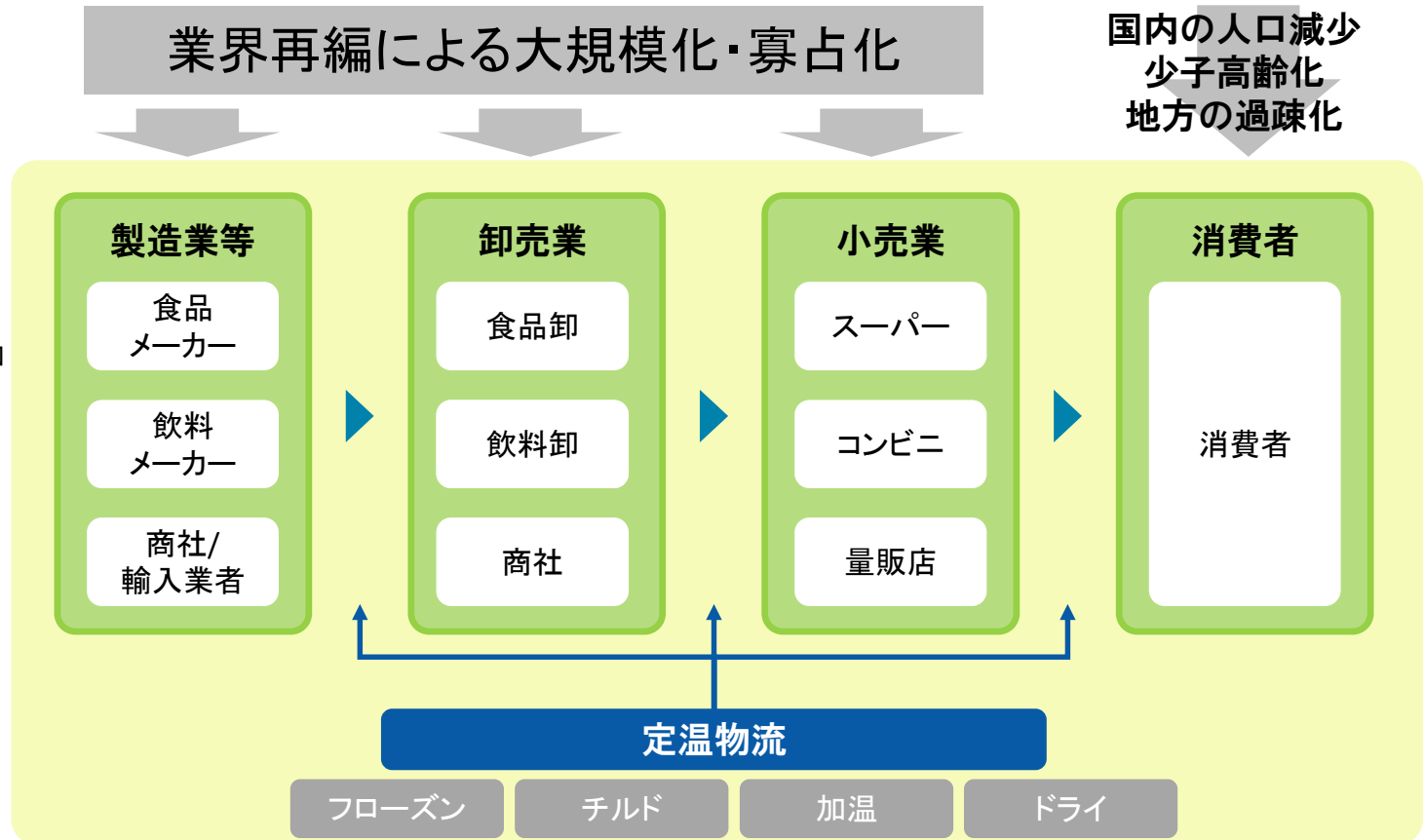
国内の人口減少
少子高齢化
地方の過疎化

ポジティブ

- 中食市場の成長
- 冷凍・チルド食品の増加
- 食の安全意識の高まり

ネガティブ

- 円安
- エネルギーコスト高
- 要員不足



経営統合の背景：課題認識

グローバルに変化する食品物流を担う低温を核とする 総合物流情報企業の実現

共通の課題認識

単独でのさらなる事業領域拡大には一定のハードルが存在

食の安心と安全を担保する
高度な物流品質へのニーズ

効率化・収益構造改革の必要性

多温度帯・多様なチャネルへの対応

2015年2月10日 経営統合に関する基本合意書締結

対等の精神に則り、経営統合を実施

総合物流情報企業の実現

物流情報の提供と統合

物流情報の提供

- チルドおよびフロースンに関する物流ノウハウに様々な物流情報を加え、安心して安全な物流システムを提案・提供

物流情報の統合

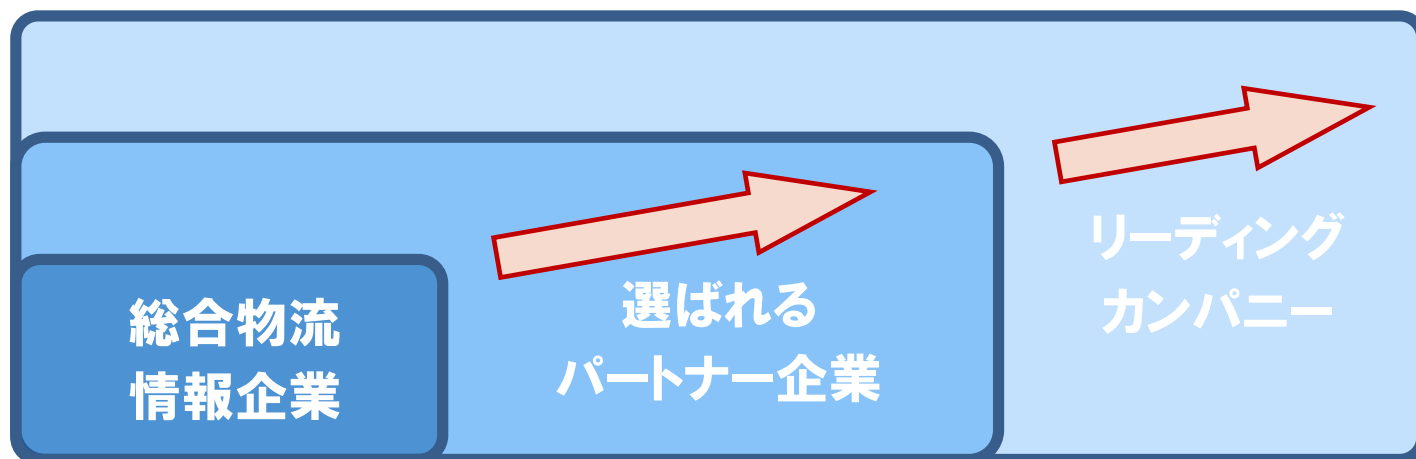
- 物流に関するあらゆる情報の一元管理・統合を図り、リアルタイムな情報の提供のみならず、各種情報の分析・活用により有益で有効かつ、効率的な物流システムを提案・提供



目指す方向性とシナジー

全てのステークホルダーにとって最善の選択

目指す方向性



企業価値の持続的な向上

シナジー

1. 経営基盤の強化

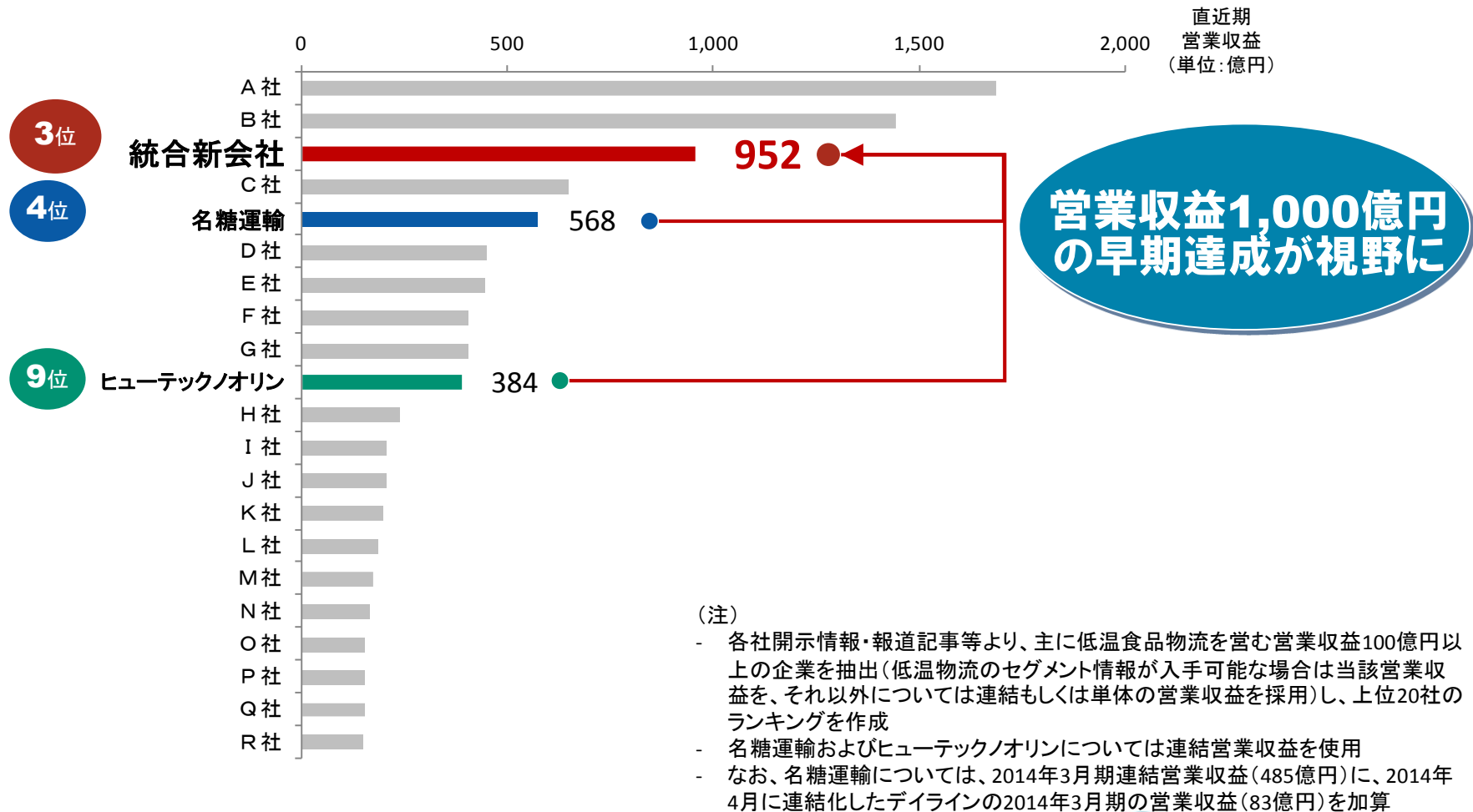
2. 顧客サービスの向上

3. ネットワークの拡充

4. 経営資源の有効活用

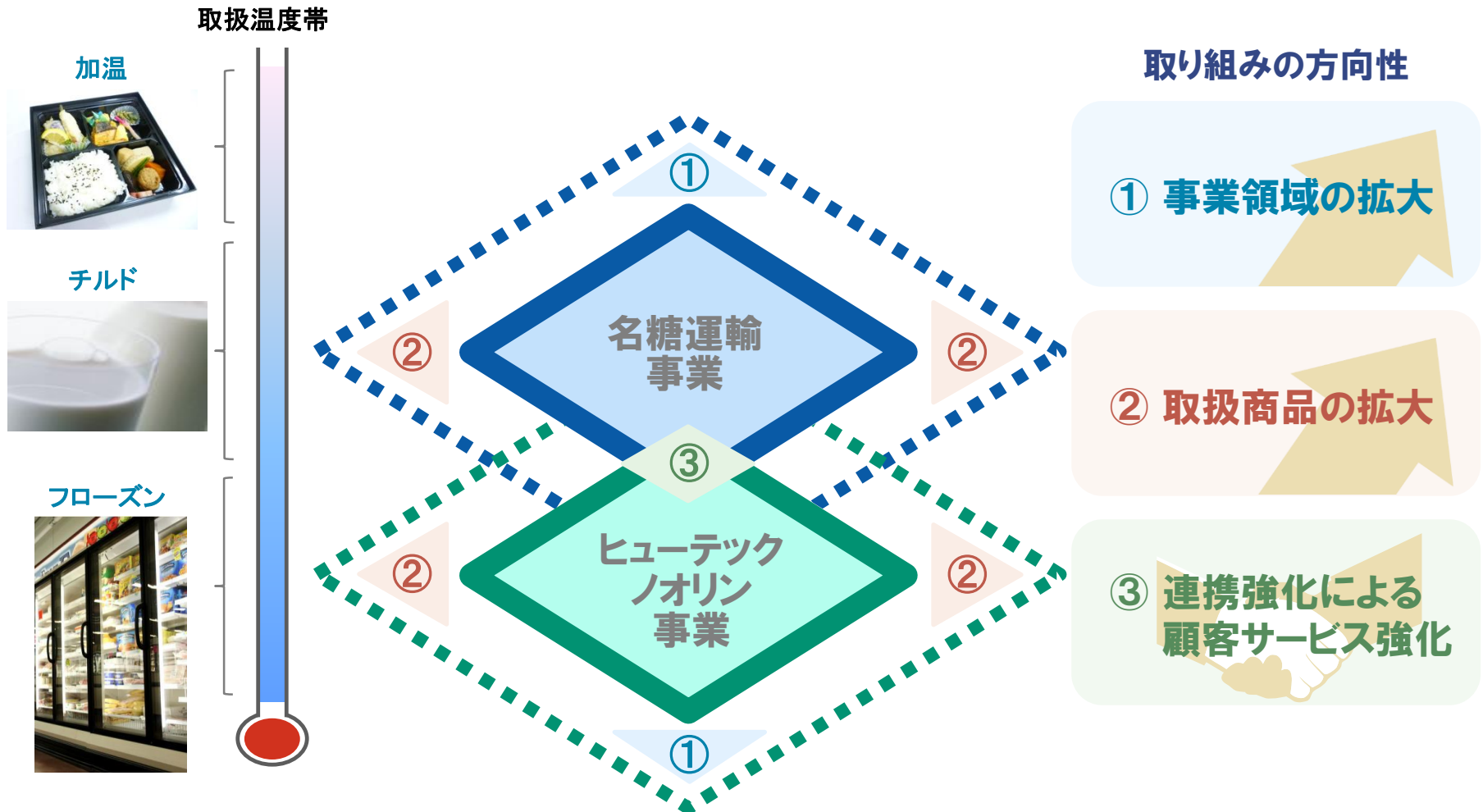
シナジー①: 業界ポジションの向上

統合により低温食品物流業界トップ3の売上・事業規模に



シナジー②: 今後のサービス展開

事業領域を拡大しサービスレベルを向上

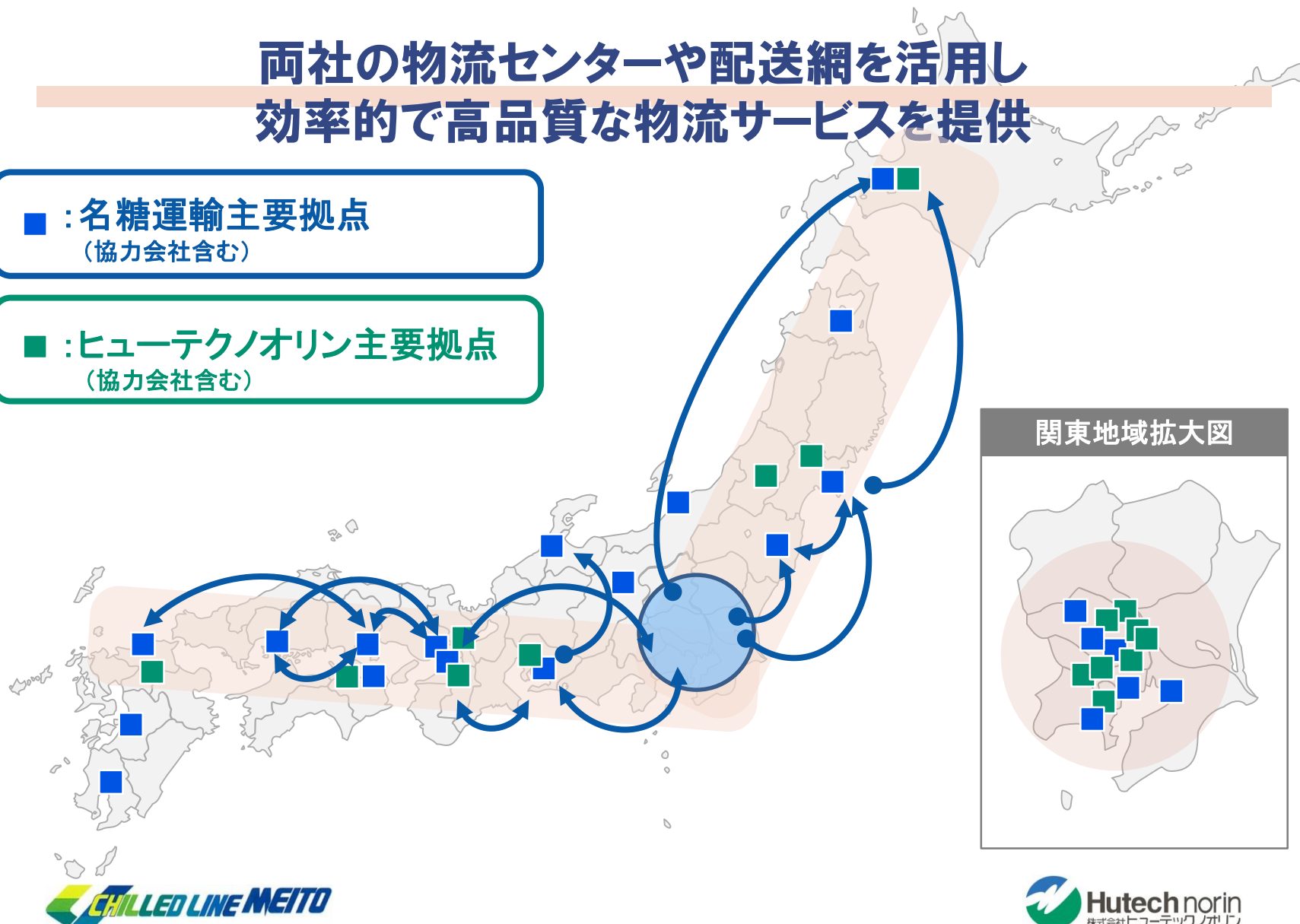


シナジー③: 統合後のネットワーク

両社の物流センターや配送網を活用し
効率的で高品質な物流サービスを提供

■ : 名糖運輸主要拠点
(協力会社含む)

■ : ヒューテクノオリン主要拠点
(協力会社含む)



シナジー④: 経営資源の有効活用

▶ 事業推進体制の強化

- 共同営業体制の確立
- 人事交流によるノウハウ共有
- 新規分野を開発・研究するチームの設置

▶ 施設・車両等の有効活用

- 繁忙期の異なる両社の統合により、波動の影響をコントロール
 - 名糖運輸: 飲料需要拡大のため、夏場に稼働率がピークを迎える傾向
 - ヒューテックノオリン: お盆・年末年始、ゴールデンウィークに稼働率が上昇

▶ 人的資源の拡充

- 人事制度の整備による処遇の改善と人材確保の強化
- キャリアアップ支援制度の充実等を通じた人材育成
- 人材の共有化による生産性の向上

経営統合のためのベストパートナー

両社の 特徴

名糖運輸

チルド物流に強み



3温度帯輸送



ヒューテックノオリン

フローズン物流に強み



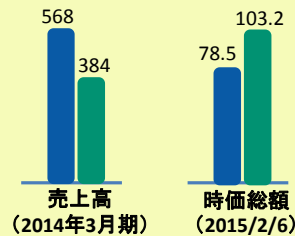
倉庫を保有・運営



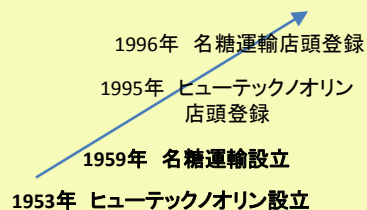
両社の 類似性

企業規模

(単位: 億円)



50年超の長い歴史



高い品質



顧客第一主義



施設・車両



徹底的な現場主義



統合スキーム等

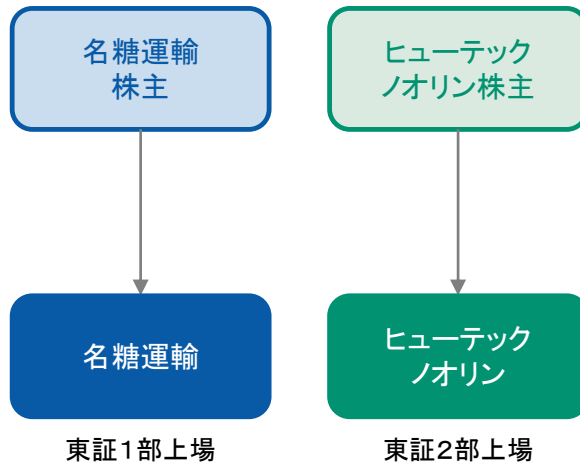
持株会社の概要

名 称	株式会社C&Fロジホールディングス
英 文 名 称	Chilled & Frozen Logistics Holdings Co., Ltd.
事 業 内 容	傘下子会社及びグループの経営管理並びにこれに付帯又は関連する業務
資 本 金	40億円
資 本 準 備 金	10億円
決 算 期	3月31日

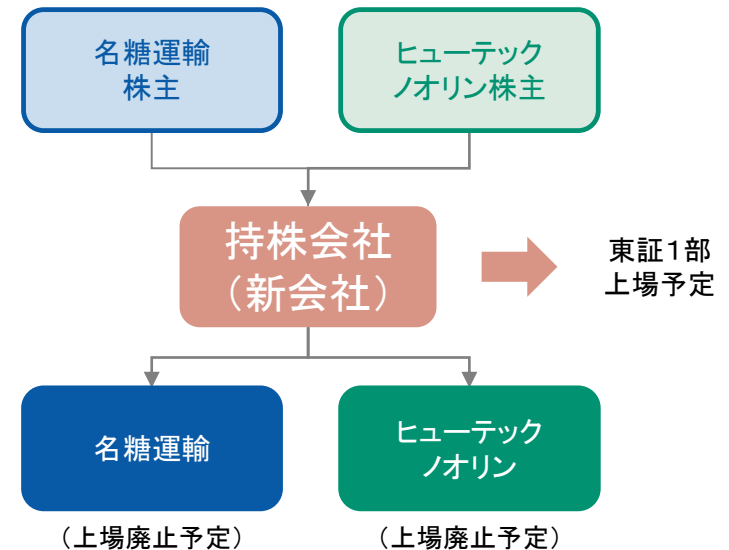
スキーム図

新設持株会社を設立する株式移転を採用 スムーズに企業グループを形成

▶ 現在



▶ 2015年10月1日以降



株式移転比率

株式移転比率

会社名	名糖運輸	ヒューテックノオリン
株式移転比率	1	1.44

※名糖運輸の普通株式1株に対して、共同持株会社の普通株式1株を、ヒューテックノオリンの普通株式1株に対して、共同持株会社の普通株式1.44株を、割当て交付いたします。なお、共同持株会社の単元株式数は100株を予定しております。本株式移転により1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条その他関連法令の規定にしたがい、1株に満たない端数部分に応じた金額をお支払いいたします。

今後のスケジュール

2015年2月10日(本日)	経営統合に関する基本合意書承認取締役会(両社)
2015年2月10日(本日)	経営統合に関する基本合意書締結(両社)
2015年3月31日(予定)	定時株主総会に係る基準日(両社)
2015年4月24日(予定)	統合契約書及び株式移転計画承認取締役会(両社)
2015年4月24日(予定)	統合契約書締結及び株式移転計画作成(両社)
2015年6月26日(予定)	統合承認定時株主総会(両社)
2015年9月28日(予定)	東京証券取引所上場廃止日(両社)
2015年10月1日(予定)	統合予定日(共同持株会社設立登記日)
2015年10月1日(予定)	共同持株会社株式上場日

※なお、今後手続きを進める中で、手続き上の必要性その他の事由により、必要な場合には両社協議のうえ、日程を変更する可能性があります。

両社の概要

会社概要

社名	名糖運輸株式会社	株式会社ヒューテックノオリン
上場市場	東証1部 (9047)	東証2部 (9056)
本社所在地	東京都武蔵野市中町二丁目4番5号	東京都墨田区両国二丁目18番4号
電話番号	0422-54-8803	03-3632-3434
設立	1959年9月	1953年3月
代表者	代表取締役社長 林原 国雄	代表取締役社長 綾 宏将
営業収益	485億円 (2014年3月期連結)	384億円 (2014年3月期連結)
従業員数	2,228名	1,397名
保有車両台数	1,800台	724台
事業内容	一般貨物自動車運送事業 貨物運送取扱事業 倉庫業	倉庫業、冷凍冷蔵業、一般貨物自動車運送事業ならびに貨物運送取扱事業、荷役・梱包業、冷凍食品のリパック等の加工業、自動車輸送警備業

※両社の従業員数・保有車両台数は2014年度9月時点のもの

今後の主なトピックス(ヒューテックノオリン)

関東地区における物流増への対応と機能の再編を目的に総額約100億円を投じる(仮称)岩槻物流センターは、計画どおり2015年秋に移動予定



(仮称)岩槻物流センター

所在地	埼玉県さいたま市岩槻区 大字長宮ギラ1543-3
敷地面積	7,958.43坪 (26,308.85m ²)
延床面積	9,031.98坪 (29,857.80m ²)
主要トン数	72,598.58t (181,496.46m ³)
PL数	自動ラック 16,254 PL
	移動ラック 13,275 PL

お問合せ先

名糖運輸株式会社

東京都武蔵野市中町二丁目4番5号

0422-54-8803(代表)

経営企画部長

高橋 浩

<http://www.meiun.co.jp/>

株式会社ヒューテクノオリン

東京都墨田区両国二丁目18番4号

03-3632-3434(代表)

取締役管理本部長

坂内 茂昭

<http://www.hutechnorin.co.jp/>

将来予想に関する記述について

本資料には、上記の名糖運輸株式会社と株式会社ヒューテクノオリンの経営統合の成否及びその結果にかかる将来予想に関する記述に該当する情報が記載されています。これら将来予想に関する記述には、不確実な要素が含まれておりますのでご注意ください。